

平成 21 年度
第 3 期 鹿野地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成 21 年 6 月 30 日（火）

場 所：コアプラザかの

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章の唱和
- 3 鹿野総合支所長あいさつ
- 4 議 事
- 5 閉会

平成 21 年度 第 3 期鹿野地区地域審議会 会議録

日 時 平成 21 年 6 月 30 日（火）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
場 所 コアプラザかの 健康管理研修室
出席者 ・委員 13 名（欠席 2 名）
青木澄代、石川光生、一原英樹、岩田キミ、金子静雄、倉益 勲、小林周子、寺戸光政、
廣本武生、福田清治、三浦美津代、山崎武夫（敬称略）
・事務局 8 名
企画総務部 企画課 中村課長、原田課長補佐、亀割係長、福田主査
鹿野総合支所 広実総合支所長、寺田次長、地域政策課 小田課長補佐、神田主査

資 料 周南市まちづくり総合計画後期基本計画（素案）
わかりやすい予算 2009

会 議 議 事 録

1 開 会

2 あいさつ

鹿野総合支所長

- ・ 常日頃鹿野地域のことについて熱心にご協議をされていることに対しお礼を申し上げます。
合併後 6 年目を迎え、社会情勢も大きく変化し、鹿野地域においても、人口減少、高齢化が進み、集落機能が低下している状況にあります。昨年後期計画に鹿野地域の意見を反映するというところで、前期計画の検証をしていただいたところ です。
- ・ 本日は後期計画の素案をお示し、ご意見をいただくことにしておりますのでよろしくお願いいいたします。

3 議 事（要約）

会 長 それでは議事にはいります。(1)周南市まちづくり総合計画後期基本計画（素案）について事務局より説明をお願いします。

事務局 周南市まちづくり総合計画後期基本計画（素案）について説明

会 長 説明が終わりました。何かご意見等がございましたらお願いします。

委 員 15 ページの自然保護等の推進にツル保護対策の推進がありますが、現実にツルは何羽いるのですか。このことも大事なことでありますが、鹿野は観光面で山や川がありますが、熊が出たり、シラサギやカワウによる鮎の被害があったりしています。観光面でマイナスや害になるものへの対策はできないでしょうか。

事務局 ツルについては、出水市と提携をしており、傷病ツルの試みをしておりますが、数が減っている状況にあります。県の鳥ということと、熊毛の方は愛着をもって育ててこられたという経緯もありますので、計画の中で出している訳です。熊対策のこともありますので、部会でも協議していきたいと思っております。

会長 ツルの保護対策については、色んな方面からご意見もあるようで見直しもしていかなければならないかと思われまます。熊については頻繁に出ているので、観光面でも影響があるので対策を考えていかなければならないかと思っております。

委員 159ページになりますが、新市建設計画を策定してから前期の実績について検証し、計画されたことができたのかできなかったのかを詳しく市民へ知らせる必要があると思っております。4の推進施策の展開で、財政的なことで、合併特例債を有効に活用するということではありますが、財政的に事業が計画できるのかできないのかを知らせる必要があると思っております。都市間連携の推進で、周辺自治体である光市、下松市との考え方や取組の方向性を計画の中に載せていく必要があると思っております。各委員さんは団体を代表して出ておられ、自分の持分があると思われまますので、鹿野地域だけを捉えて、まとを絞って分かりやすいように資料を出すなりの対応をして欲しいと思っております。27ページの施策の体系図で、産業の分野で基本施策が4の商業の振興になりますが、推進施策の(1)の商店街活性化の促進はよいのですが、(2)の活力ある商業の振興については、何をやるのかおざなりに見えますので、最近の動向を取り入れるべきであります。(2)として創業・開業・支援体制の確立、(3)として後継者育成の推進、(4)として農商工連携の取組み研究をここに載せるべきであります。それから、都市基盤分野の基本施策4の河川・水辺空間の整備ここを生活環境分野の基本施策3の自然環境の保全の推進の所にもってきます。(1)として河川・水辺の整備、(2)として生態系(動植物)の保護・育成、(3)として森・川・海の連携活動の推進を入れて欲しいと思っております。

事務局 新市建設計画について、進捗状況については今年度更新した分を本日は資料としてお出ししておりませんが、総合計画の審議会委員さんにはお配りしております。1年間のハード事業なのでそれほど進捗はしておりませんが、まとめておりますので、どこまでお出しするかは検討させていただきたいと思っております。財政的なことになりますが、財務政策課の方で、22年度からの財政健全化計画を作っております。税収などの歳入が不透明な中で、行財政改革を進める中でどこまでお出しできるかを含めて検討させていただきたいと思っております。合併につきましては、2市2町の先行合併があった訳ですが、現在こういった状況になっております。県としても合併基本構想の中で下松、光、周南市が一緒になるべきであると出しております。しかしながら、光市、下松市の状況もありますので、積極的にできない状況もあります。データの的なものですが、新市建設計画の財政計画中の普通建設事業で1,170億が当初の数値であります。実績ベースで平成15年度から平成21年度まで計画では830億の投資ができることになっていました。実際は530億で300億位の見込み違いがあります。三位一体の改革のこともありまして、交付税を削られて将来を見越すのが難しい状況になっております。合併特例債は430億ありまして、160億使うことになっておりまして、選択と集中で後期計画につい

て合併特例債を使いながらでやっていくことになるかと思えます。10年を過ぎて特例債が使えなくなっても新市建設計画は約束事なのでやっていかなければならないスタンスであります。

委員 今の説明では厳しい財政状況になって新市建設計画も難しくなってきたということではありますが、鹿野地区ではファンタジアファームという事業がありますが、前期でも後期計画においても出てきておりません。財政的にできないのか、それに変わるほかのことをやるのか市民へ知らせるべきであると思えます。施策体系図の中に文化・芸術活動の促進というのがありますが、施策をどうしていくのか載っておりません。多くの方の要望である「文化ホール」の整備はどのようなのですか。今の施設を大改造するのか、新たにホールを造るのか造らないのか、後期計画へ入れるのかどうなのですか。住民へ夢を持たせることを出してもらいたいと思えます。そのことを市長や市議会へ伝えていただきたいと思えます。

委員 21ページに多様なツーリズムの促進があり、廃校等を活用した交流拠点づくりを支援しますとありますが、現状の施設をそのまま譲ってもらっても維持管理面で大変なので、支援とは具体的にどうするのかを載せていただきたいと思えます。観光立市の取組みをしますとありますが、動物園のことが主になっています。最近では中高年のツーリズムや登山ブームで盛り上がっています。鹿野では森林や高い山を利用したコースづくりや登山コースを整備することで訪れる人も多くなると思われれます。川の側に桜等を植えたり、藪を刈ったりするなど手を入れることにより景観がよくなるよう整備することも事業として入れて欲しいと思えます。

委員 都市部と中山間地域の交流を強く表現していただきたいと思えます。産業観光ツアーがありますが、重工業だけじゃなく、農業、林業等の一次産業との連携もあります。地元で茶摘み体験、芋ほり体験などをしてありますが、そういった一次産業的な交流事業も連記して中山間地域に目を向けて欲しいと思えます。第一次産業は人間生活の原点あるということ表現して欲しいと思えます。

委員 130ページの活力ある産業のまちの中で農業の振興の前期計画の実績に農村環境の保全活動を支援しましたとありますのは、この事業の名目が農地・水環境保全向上対策事業であれば数が少ないのではないのでしょうか。132ページの中山間地域等直接支払交付金事業は第2期が終わって第3期が継続して行われるのでしょうか。

委員 商業と1次産業との連携で、農林漁業産物は販売しなければ収入にならず、商業との連携が必要になってきますので、その辺りも表記していただきたいと思えます。補助金がもらえなくなったら、立ち行かないということにならないように自立できるための方策を具体的に表記していただきたいと思えます。

事務局 農地・水・環境保全向上対策事業については、表のとおり実施地区を増やしていきたいと思っております。中山間地域直接支払いについては、2期で終わっておりますが、ここに載せています主要事業は現在やっているものを載せております。来年度から始めるものは庁内で検討し加えていくこととなります。中山間地域直接支払いについては、国の方でも議論しておりますが、動向を踏まえましてどうなるかは少し時間をいただきたいと思えます。ツーリズムとか中山間地域の交流に

つきましては、21ページにあります。経済的にお金の入るしくみが必要だと思っております。付加価値を付けて情報発信していくコミュニティビジネスを推進していくことが必要だと思っております。大潮や渋川地区で活動されていますが、経済として回っていくシステムが必要だと思っておりますので検討させていただきたいと思っております。

委員 鹿野地域を廻って気付いたことなのですが、廃屋が増えています。良くない環境を加速していますし、負荷にもなっております。逆に街に住んでいる方が廃屋や空いている家を例えば芸術活動をするということで求めているというのを耳にします。需要と供給がありますが、これをうまく結びつける機関がないことが残念に思っています。提案ですが、この辺りを執行部でまとめて道筋を作ってくださいとかが、問題点を解決する手っ取り早い方法だと思っております。都市との交流ということで、最近川や山、花などを遠くから見に来る方が増えました。こういった状況を捉え、うまくしかけをしていくと問題解決や活性化につながるのではないかと考えております。具体的には、都市との交流を促進する部会等を立ち上げ、具体的に線と線をつなげるしかけを作る必要があるのではないかと考えております。

事務局 空家や廃屋につきましては、鹿野地域のみならず、中山間地域が同様な状況となっております。市ではコーディネートできないかということで、空家バンクを設けて不動産屋が手をつけないような借りたい人と貸したい人が登録をしてホームページに載せて紹介しております。鹿野でも成立した例はあります。ただ、借り手の意向であるとか貸したくないというのもありますので、これを活用してもらうということで取組をしております。もっと踏み込んでということでしたら、住宅政策課に相談して検討させていただきたいと思っております。

委員 本庁でやっているが、総合支所ではやっていないということですか。

事務局 ホームページに載せて誰でも見れるという状況であります。ただ、貸し手の意向もあり、件数的にあまりないというのが実情であります。

委員 総合支所でも事務所の一角に設けて管理して欲しいと思っております。やはり市の職員の方はどこに空家や廃屋があるのか把握して欲しいと思っております。それが犯罪に繋がることかもしれないし、町内を知るうえでも大切な業務だと思っております。

事務局 昨年自治会連合会におきまして、廃屋などの現状を調べており、地区別の廃屋や空家の数は把握しております。今後、一歩踏み込んで家屋が危険なのか、活用できるのかといったことに取り組むよう検討しております。

委員 分かっているのなら、時系列に市民に対し教えていただきたらと思っております。

委員 以前婦人会で国道の花を植えたり、草をとったりしていましたが、その後国道筋や花壇の状況はどうなっていくのか教えていただきたらと思っております。

会長 バイパスの植栽ということでやっていましたが、手が足りないということで県の方へ返すことになりました。藤木交差点あたりでは一部やられていますが、中々広範囲ではできない状況にあります。2年後の国体へ向けてどうするかということもあり思案しているところです。

事務局 大地庵の老人クラブでは清流通り・潮音洞が平成の名水百選に選ばれたということもあり、人の目に付くもので「茅の輪」のミニを作り奉納しました。それが宣伝になるということでコアプラザかのへ来ておりました。これからは補助金等

もなくなり、色んなことを市へ頼っていたのではできなくなり、地域は地域でやることになると思います。特にコミュニティが中心となり、自主財源も確保しながら考えながらやっていくことになるかと思います。

委員 少子高齢化が言われている中で、鹿野地域では高校の時から地域外へ出て行っている方が多い実情があります。生活する上で不便なところもありますが、若い人が定住できるような方策や支援を考えていただきたいと思います。

委員 地域福祉の問題があります。施策の基本方針の中に自助、共助、公助のことが出ていますが、高齢者の1人暮らしや2人暮らしの方が増えており、行政の手助けだけではやっていけない状況になっています。地域の実情がどうなっているのか調査し、実態把握する必要があり、福祉の現状がこうなっているから、こうしなければならぬということを書いていくべきであると思います。

委員 民生委員の方で1人暮らし、二人暮らしの老人世帯や寝たきり老人の世帯の調査をしております。個人情報のことなので、公開できないということがあり、災害時において情報がないと救済できないということもあり問題となっています。情報として調査はしており把握しております。

委員 限界集落がどこにどのくらいあるのか公表できないのですか。

事務局 鹿野地区においては、自治会長集会において一覧表として出しております。

会長 総合計画の審議会の中でも資料として出すよう意見しております。

委員 情報として出しておけば、将来的にも時系列に分かるし、状況を見て自助、共助ということも生まれてくるのではないのでしょうか。実態を皆さんへ知らせておくことが必要であると思います。

事務局 小規模・高齢化集落の実態については、住民基本台帳に基づいて、調べており情報として持っております。中山間地域の実態・状況として載せたいと思います。

委員 観光立市として地元資源の発掘というのがありますが、総合支所で地元のことがよく理解されていなくて、市民に説明できていないということがありました。地元から情報発信するのに、地元のことをよく理解することが必要であると思います。総合計画書(案)をいただいて、何回も見直しましたが分かりにくく、もっと地元をみつめられる、足元から分かるような資料が欲しいと思いました。

委員 鹿野のことをよく知ることが必要だと思います。人材立市ということでも人材育成ということもありますが、人材の掘り起こしも必要だと思います。色んな経験や勉強をされている方がおられますので、その掘り起こしも必要だと思います。また、地元の職員は、地元のことをよく理解して仕事をして欲しいと思います。

委員 中山間地域の農業者として50haの農地を耕作しており、農地・水・保全対策、補助金のことについて関係があります。4月から休みなしで地域の溝掃除や草刈に出ています。コミュニティなどの地域でやっていただければ、田の耕作だけで済むわけですが、農道や水路まで管理することになっています。優良農地は荒らさないという方針でやっておりますが、経費が多くかかり、補助事業で成り立っている状況にもあります。農産物に付加価値をつけるということで、エコやブランド米の生産も考えており、鹿野をPRするためにやっております。自然を生かすと

ということで、ホテルや珍しい植物が沢山ありますが、人が来れば自然が荒れるということもあり、公開して観光に生かすかどうかということもあるかと思います。道路や川側に桜、あじさい等を植えられていますので、10年後見ごろになると思います。こういったことを後のことまで考えながらやっていくことが必要だと思います。

会 長 中山間地域の置かれている現状が全市民へ共通理解されているのでしょうか。中山間地域を守っていくのは大変なことであり、そこを全体で共有していく必要があると思います。

委 員 表現のことですが、31ページに不登校対策で少しでも多くの児童生徒が登校できるよう努めますとありますが、学校へ行くことができるようになったらすべて解決したというような受け止め方をされる方もあるかもしれませんので、そこは一考をお願いしたいと思います。

委 員 鹿野のよさは自然であると思います。最近、いのしし、さる、カワウといったものの被害が出ており、みなさんの手で守っていく等その保全策を考えないといけないと思います。また、生態系の保護のことも計画に入れていただく必要があります。

会 長 アンケートの調査結果がありますが、18歳から19歳の50%が周南市へ住みたくないという結果になっています。なぜなのかというのをもう少し分析していく必要があると思います。中心市街地を整備することについて、実際に市民の総意なのかどうなのか、中心市街地を守るためには百貨店が出て行かないような方策をとるべきであると思います。

委 員 医療のことですが、眼科や皮膚科の関係で、週に1回でも鹿野で受診できるようにならないのでしょうか。

委 員 鹿野地域で人材の掘り起こしを行って、達人衆の選任やその方達の発表会を行ったらいいと思います。高齢者の生きがいにもなると思います。

会 長 中山間地域の活性化につながる多くの意見をいただきました。この意見を後期計画へ反映していただきたいと思います。

以上をもちまして地域審議会を閉めたいと思います。

4 閉 会